

### 今年はどうな年に

～ 小滝地区・曼荼羅餅占い～



餅の上で宝印が書かれた紙を燃やし風や雨量を占う

1月7日、小滝地区金峰神社で「曼荼羅餅占い」が行われました。年男がついた餅の表面や形状などから、米の作柄や天候、社会情勢などを占う古くから小滝地区に受け継がれてきた伝統行事です。

占いでは、米の作柄は市内7地区のほとんどが豊作。風の具合や雨量は、上期は南風、下期は北風が強く雨量は年間をとおして平年並みと占われました。

最後に、餅を裏返して社会情勢を占ったところ、表面がきれいで溝が少ないことから「今年は穏やかな1年になるだろう」という結果になりました。

### 飛んで跳ねて無病息災

～ 赤石地区の小正月行事・アマハゲ～

1月9日、赤石地区で小正月行事・アマハゲが行われ、1年の無病息災を祈りました。

今回、顔を墨で黒く塗り、わらでできたケラをまといアマハゲに扮したのは金浦中1年の家田雷地君と金浦小6年の大宮勝磨君。子どもたちと一緒に「アマハゲ来たじゃ、じえん(銭)ならごもん(5文)、酒なら一升、しな餅いらね、いい餅よんだ(よこせ)」の掛け声で家々を周り、神前で飛び跳ね厄を払いました。

そして、飛び跳ねた際に落ちたわらを燃やして煙を浴びることで、1年間健康に過ごせると伝えられています。



落ちたわらは大事に拾います！

### 子宝に恵まれますように

～ 大森の小正月行事・嫁つき～



はやし立てられる嫁を「やめでけれ」と止める夫

1月10日、大森地区で小正月行事・嫁つきが行われました。この行事は、嫁入りがあった年に「子宝を祈願」する行事で、今年の3月に結婚した櫻山卓さん宅に大森地区の男子児童が子宝祈願に訪れました。

児童らは、タラの木で作った「初嫁棒」を手に、着物姿の妻、千穂子さんを囲んで「初嫁出はた、つつくは今だ」とはやしたて、新婚夫婦が子宝に恵まれるようお願いを込め儀式を執り行いました。

5年ぶりとなった行事に、多くの近隣住民やテレビ・新聞記者が駆けつけ、一緒になって子宝を祈りました。



喜びと責任を  
かみしめて

～にかほ市成人式～

1月10日、スマイルを会場に「にかほ市成人式」が行われ、新成人260人が出席しました。風が強く、時より雪が舞う中、振り袖やスーツ姿に身を包んだ新成人たちが次々に会場に集い、友人との再会を喜びながら、近況を報告しあう姿が見られました。

式典では、来賓の方々に見守られ、喜びと、責任の大きさをかみしめている様子が伺えました。成人証書授与式では、代表の佐藤泰良さん(上小国出身)に成人証書と記念品が横山市長から手渡されました。また、成人式実行委員会によるビデオが上映され、懐かしい映像を見て談笑する姿が多く見られました。

今年の新成人誓いのことばを務めた齊藤理帆さん(下荒屋)は「成人になった喜びと、大人としての責任に身の引き締まる思いです。これからはそれを自覚し、歩んでいきたいです。」と述べました。



### 新 成人の声

新成人に抱負を  
語っていただきました！

世界に目を向けて  
大きく羽ばたく  
原田拓実さん/平沢



今は国際教養大学の2年生です。今月、台湾に留学することが決まっています。普段、大学で使っている英語のほかに第2外国語となる中国語も覚えなければならず大変ですがとてもやりがいがあります。将来は、世界に目を向けられるような航空関係の仕事に進みたいと思います。

責任感を強く持ち

これからも仲間を大事に  
碓谷大地さん/金浦1町内



高校を卒業してから、由利本荘市で事務の仕事をしています。20歳になったのを機に、今まで以上に責任感をもち仕事を頑張りたいです。また、地元にいる仲間も同じように20年一緒にいて、もう家族のようです。かけがえのない仲間とこれからもずっと一緒にいたいと思います。

社会人の一員として

まずは身の回りから  
齊藤亜衣さん/大森



現在は親元を離れ、秋田市で一人暮らしをしています。3月で短大を修了し、いよいよ小さい頃から夢だった保育士の仕事にスタートするので、とても楽しみです。社会人の一員として、これからは苦手な整理整頓など、自身の身の回りからしっかりしていきたいです。